

新 まるとみ

Vol.74

newspaper
'20 Oct.

発行所
北九州市若松区本町 1-1-33
丸富産業（若松区役所前）
TEL093-751-1081

すまいdeスマイル
2年10月号



住まいの

雑学



江戸の防災対策

いつ、どこで起きるか分からない地震には目ごころからの備えが大切ですが、江戸の町にすぐれた防災マニュアルが存在していたことをご存じでしょうか。

1855年、大都市江戸をM7クラスの地震が襲い（安政江戸地震、死者推定1万人の被害が出たほか、1万4000戸以上の家屋が倒壊、

地域全体で助け合い

おおよそ1・5平方キロメートルが焼失しました。

火災が多かった江戸には、とび職人らで組織された48組の町火消という消防組織があり、地震後はまず人命救助と消火作業がおこなわれたと思われまふ。当時の消火方法の主力は建物や燃やして延焼を防ぐ「破壊消火」ですが、町火消の頭（かしら）は普段から人々の尊敬を集めていたことから、頭が壊す家がたとえ自分の家であっても住民

当時も瓦版の「記者」たちが被災地取材し被害や復興の様子を報道していたのだって。



は協力して消火活動をしました。

十分な量の食糧を備蓄

一方、町ではその日のうちに応急手当所が設置され、炊き出しが始まります。驚くことにこのとき町には46万石（1石は10000合）もの米が備蓄されていた。当時の（武家や寺社を除く）町人の人口は60万人程度でしたから十分すぎるほどの備蓄量です。

また復興対策も当日に決定され、翌日には御触書（おふれがき）が出されます。そこには炊き出しを

することのほかに、◎5か所の避難所を設けること、◎買い占めの禁止、◎物価・人件費の値上げ禁止、◎ほかの地域から職人を集めること、などが書かれていたといひます。

江戸のまち流仮設住宅

さらに驚くのが、わずか半日でたまたみ20000畳分の避難所がつくられたことと、ものすごいスピードで仮設住宅が建てられたことです。

これを実現できたのは、あらかじめ建物の構造や部材を決めてマニュアル化し、必要な品や部材をそろえておいたから。屋根や壁用の羽目板、障子、雨戸などはそれぞれパーツごとに揃えておいてすぐに組み立てられるようにしていました。

これぞ現代でいうプレハブ工法です。

江戸の大火を教訓としてつくられた防災・復興マニュアルですが、いまの日本でも生かして災害に備えたいものです。



トコロ 変われば

なんでもかんでもデポジット

シンガポール共和国

多国籍の人が出入りする国際都市だからこの手段かな。

シンガポールは小国ながら貿易や交通、金融の世界的中心地として流動的に人が出入りする国際都市。国民も多様な民族・国籍の人で構成され

る複合民族国家ですが、そんな国で日本人がとまどうのが生活の中の「デポジット制」です。

デポジットは「預かり金」「保証金」とい

う意味で、海外のホテルやレストランでよく採用されるシステム。たとえばホテルではチェックインの際にまず現金で一定金額を払うかクレ



ジットカードを提示しておき、チェックアウトでそれを精算します。ホテルが損をしないようにしているわけです。

このデポジットがシンガポールではさまざまなものに取り入れられていて、交通機関ではICカードからまず終点までの

料金が引かれ、降りるときに精算して返金される仕組み。また電気や水道・ガスなどの公共料金も過去の使用履歴から「たぶんこれくらい使うだろう」と計算された翌月分を前払いするのだそう。

合理的なシステムかもしれないが、なんだか信用されていないようでちょっと複雑な気持ちになっ

ちがいはベニヤと合板

薄くてサイズが大きなベニヤ板は、安価なため建築材料からDIYまでよく使われる板材です。ただし、本来のベニヤはラワンなどの木を「大根のかつらむき」のようにむいて作る1枚（単層）板のこと。厚みも0・6〜3ミリ程度なので強度が必要なところには使えません。そこで何

枚かのベニヤを繊維が垂直に交差するようにならねて接着（積層）したのがベニヤ合板。どちらもベニヤと呼ばれるのだからに注意しておきましょう。

合板は使われる木材によってラワン合板、表面に木目のきれいな木材を貼ったシナ合板やひのき合板、独特の木目と経

年によりアメリ色に変わるから好んで使う人もいる針葉樹合板などの種類があるほか、建築の下地材として厚みや接着材の種類、表面材の品質などが決められている構造用合板、コンクリートを流し込むときの型枠として使用されるコンクリートパネル（コンパネ）があります。



フリークの会場も無観客で感染防止対策をして開催されています。

頑張れ、ボルクバレット北九州！

どこにどんな窓をつけるかですまいの快適さがちがってきます。

リフォームの基礎知識

Basic Knowledge

窓選びのポイント

今回は窓のカたちについてです。

【引き違い窓】

上下の溝に沿って左右に開閉するもの。一般的な窓。窓の開閉に場所をとらないのでどこにでも設置でき、出入りや開け閉めも簡単。価格も安いのでよく使われますが、デザイン性、気密性、防犯性に

【滑り出し窓】

欠けるのが難点です。縦滑り出し窓はさまざまな角度の風を室内に取り込むことができ、通風量は引き違い窓の10倍ともいわれます。横滑り窓は雨の侵入を防ぎ、外からの視線をさえぎりながら通風できるため浴室や洗面所によく設置されます。

【開き窓】

ドアのように外に大きく開く窓。強風には弱く、やはり外に網戸等を設置できません。

【上げ下げ窓】

外国映画でよく見る上下に上げ下げする窓。外観をスタイリッシュに見せ防犯性にもすぐれますが、外側に網戸やルーバーを設置できないのが欠点です。

【その他】

引き窓、FIX（はめ殺し）窓、ルーバー窓、オーニング窓、倒し窓、突き出し窓など。